

# おめでとうございます

## 旭日双光章を受章

元茨城県農業会議副会長

宇留野誉一さん



宇留野さんは、昭和37年大宮町農業委員に初当選以来14期連続当選し、平成16年3月に茨城県農業会議副会長を退任されるまで、大宮町農業委員長、農業委員会那珂協議会長、茨城県農業会議農政対策専門委員長を歴任され、長年にわたって、「人と土地」対策を中心に農業委員会系統組織の発展とともに、茨城の農業の振興に貢献されたことが認められ、旭日双光章を受章されました。

今回の受章に対して、身に余る光栄に感激しており、今後はこの栄誉を汚さぬよう健康に留意し努力していきたいとお言葉でした。

## 地域活動で

## 茨城県功績者表彰

常陸大宮市女性活動指導者

連絡協議会長

中崎 孝子さん



中崎さんは、昭和55年から10単位の女性団体で構成する「大宮町女性団体連絡協議会」の会長を務め、また、旧大宮町内に組織されている8つの女性活動団体の指導者によって組織されている「大宮町女性活動指導者連絡協議会」の会長として長年にわたって会の運営に携わり、大宮地域の女性行政に大きく寄与されました。

今回、その手腕と行動力が高く評価され、茨城県功績者表彰を受けられました。

## 交通安全ポスターで 最優秀知事賞

山方南小2年 藤来 彩花さん



## 読進協会長賞を受賞

読み聞かせボランティア「おはなし会はみんなぐばあど」が、読書週間を主催する(社)読書推進協議会から、優良読書グループ表彰を受け、11月26日に賞状が伝達されました。

この賞は、県内での受賞は1団体で、平成7年の発足以来研さんを積みながら、さまざまな機会をとらえて子どもたちへのおはなし会を続けてきた活動が認められてのもです。

「はみんぐばあど」が催すのは、読み聞かせ、民話の語り、影絵、人形劇、エプロンシアターなど。また、図書情報館を拠点に、広く保育園、学校、家庭教育学級、イベントなどで活動しています。



はみんぐばあどの皆さん

交通安全の意識啓発のために、茨城県交通安全対策協議会が県内の児童生徒から募集した交通安全ポスター作品コンクールにおいて、山方南小2年の藤来彩花さんが、最優秀知事賞を受賞されました。

茨城県の交通事故による死者数は、全国のワースト上位に位置しています。交通事故のない、安全で安心な暮らしのために一人一人がルールを守り、交通安全にご協力ください。

今日もメンバーの皆さんは、一人でも多くの子どもの心に、あたたかく楽しいお話しを届けたい思いで活動しています。

# 芸術の秋 ☆ 文化の秋

## 日々の学習の成果を発表

第1回常陸大宮市生涯学習フェスティバルが、10月10日のダンス発表会でスタートし、美術展、華道展、

茶会、合唱祭、将棋及び囲碁大会をロゼホール等において開催。12月4日の常陸大宮吹奏楽団定期演奏会で幕を閉じました。



参加者は大宮地域の各小中学校の児童生徒をはじめ文化協会加盟団体、個人など様々ですが、皆さん日ごろの学習の成果を十分に発揮し、素晴らしいフェスティバルとなりました。

【将棋大会成績】	①優勝 安野 茂雄	②準優勝 久野 清	③第3位 野上 良夫
1組 ④恩田 清三	⑤坂本 保	⑥片岡 弘	⑦野上 良夫
2組 ⑧坂本 保	⑨野澤 敏夫	⑩高渡 利男	⑪坪 根進一
3組 ⑫野澤 敏夫	⑬山本 準	⑭青砥 有義	⑮大曾 根進一
4組 ⑯山本 準	【囲碁大会成績】		
⑰萩野 光雄 ⑱四倉 克巳 ⑲沼田 徹			

## 文化祭・商工祭

11月3日から6日まで、山方公民館において文化祭・商工祭が開催されました。

写真や絵画、書道など約1,200



特別講演会など、盛りだくさんの催しが行われ、大変な賑わいをみせていました。

## 緒川文化祭

11月5日から2日間、緒川文化祭が農協祭とともに緒川総合センターで開催されました。

学校や一般から出品された陶芸や生け花、絵画や習字など、すばらしい作品が展示されたほか、1日目はお茶会や郷土料理の試食会、健康まつり、芸能発表会、お楽しみ抽選会がありました。



2日目に行われた爆笑ラ

0点の作品が展示されたほか、アニメ映画「あしたの元氣になあれ」の上映、そば打ち体験教室、文化団体による芸能発表会、経済アナリスト 森永卓郎氏による

## 茨城県芸術祭

(10/2~12/18)

イブ2005では、パペットマペットやマギー審司、テツ&トモなどお笑い芸人が次々と登場、満席となった文化ホールを笑いの渦で包み込みました。また、農協祭では新鮮な野菜の販売、焼き鳥、うどん・そばの販売などがあり、たくさんの人で賑わいました。

茨城県芸術祭は、県や県教育委員会等の主催により、県民がその優れた芸術創作活動の成果を発表・展示し、また鑑賞する機会をもつことで、心豊かで潤いのある生活となるように県内各地域において開催されている祭典です。

### 短歌部門

大宮短歌クラブ(市文化協会加盟)の小田倉量平さん(宇留野)が、県民文化センターで開催された短歌大会において審査委員の評価による短歌大会賞と、参加者の互選による今野寿美選者賞の2賞を受賞されました。

小田倉さんは、昨年10月16日に新市誕生とご自身の退職を記念として、これまでに詠まれた歌を単行本にされ、出品したものです。



### 美術部門

県近代美術館や県民文化センターにおいて美術展覧会として開催。市内からも各ジャンルで活躍されている方々が作品を出品されています。(敬称略)

#### 会員出品(審査員資格)

- 〈洋画〉宇留野信章、木村勉、木村光昭
- 〈工芸美術〉菊池弘
- 〈書〉三村龍鐸、本橋瑾序
- 〈写真〉大貫亘
- 〈デザイン〉石川眞澄
- 会友出品
- 〈洋画〉會澤佐智子
- 〈工芸美術〉加藤一郎
- 〈写真〉大山莊一
- 入選
- 〈日本画〉森島巨江、川野由紀子
- 〈洋画〉海野千代麿、塩幡ミヨ子、坪井誠
- 〈工芸美術〉海老根秀夫(会友推荐)
- 〈写真〉広木孝一、瀬尾繁喜、鈴木治雄
- 〈デザイン〉大曾根崇、寺門由紀、石川麻貴
- 〈書〉雨海慈川、神長初枝、栗田逾白、助川蒼楨、飛田祥葉、西村愛美、廣木鷗州、細貝芳子、本間孝子、増子涼花、秋山崎川、大串節子、押久保逸蘆、小田倉注年、金子紫洋、川和利津、栗木白葉、小林慶風、小室未潮、塩幡行雲、清水比呂子、富山日出子、松平冬鷹、宮本里峰

## 御前山ビオトープで 古代米の収穫



10月25日、伊勢畑小の児童20人が地域住民をはじめ関係者と古代米の刈り取りを行い、11月6日には、クモノスシダやムカシヤンマなどの移植と共に、脱穀し収穫を祝いました。御前山ビオトープとは、御前山ダム建設による水没地に生息する希少な動植物を移植し保護するため、旧御前山村が休耕田を購入し、環境保護と地域の活性化を目的に造成したものです。

今回で移植は4回目、古代米は2回目の収穫となり、今年是不耕起栽培という手法で田植えされ、黒・赤・緑・白の色鮮やかに実った稲を地元檜山地区の方の指導を受けながら刈り取りました。

また、足踏み式の千歯ごきなどを使って脱穀後は、バーベキューを囲んでの収穫祭となりました。

山間のビオトープには、消えかかる種の生命力とそれを守る人々の力強さがあふれていました。

## 個性キラリ！ 壁掛けづくり挑戦

10月29日、御前山市民センターにおいて「いいこといっぱい体験隊10月活動」が行われました。

当日は、御前山地域のいいこといっぱい体験隊隊員に登録した小学生32名が参加し、ボランティアサポーターによる指導のもと、七宝焼きと納豆パックを使った壁掛け作りにチャレンジ。

参加者は、芸術の秋に色とりどりの個性あふれる作品を仕上げました。これらの作品は、11月に実施された「ごぜんやままつり2005」で展示発表しました。



## 広報協力員レポート

### 保護者による「読み聞かせ」発表

諸沢 相沢洋子さん

山方小では、保護者のボランティアによる読み聞かせの会「おはなしのたまご（代表野上順子さん）」が、毎月1回程度低中学年に読み聞かせを実施しており、11月17日に山方小で実施された音楽集会において全校生徒に読み聞かせを行いました。

発表では挿絵をスライド上映したり、会員が衣装や着ぐるみを着て立ち回る演劇仕立てのものもあり、児童たちはじっと聞き入り、お話しが終わると大きな拍手があがっていました。「子どもたちに少しでも本が好きになって欲しい」という会員の方たちの思いが伝わったことでしょう。



### 楽しい「三美ふれあいサロン」

三美 中山さち子さん

地域の和を大切にボランティアによる三美ふれあいサロンを結成し今年で2年目。現在、会員数49人、毎月第2火曜日に開いています。

行事は会員からの声を取り入れながら、保健師さんの協力による血圧・体脂肪測定、ゲームや唄、小物づくり、ストレッチ体操などいろいろと楽しんでおり、年1回程度まちづくり講座も利用し、去年は悪徳商法の勉強会を行いました。



来月は正月飾りづくりを予定。終了してからのお茶を飲みながらのおしゃべりがまた楽しいものです。

## 第3回玉川の里収穫祭

11月19日、玉川地区内、蒲沢集会所及び法専寺を会場に、奥久慈県立自然公園を良くする会主催による「玉川の里収穫祭」が行われました。この会は、奥久慈県立自然公園のうち市内東野に位置する玉川自然公園内の遊歩道の管理や路肩への植樹などの整備を実施しています。

会場では、公園内の休耕田を利用し会員によって作られた東野ナラバラ産のモチ米をはじめ野菜や手工芸品が販売されました。

また、ステージでは地元の人々が参加して歌や踊りが披露され、地域の交流も深められた祭となったようです。

